

平成30年度（第72期）司法修習生考試委員会議事録

- 1 日 時 令和元年12月10日（火）午前10時30分
- 2 場 所 最高裁判所大会議室
- 3 出 席 者 別紙のとおり
- 4 議事要旨 以下のとおり

議 事 要 旨

（委員長）

開会宣言

第1 司法修習生考試実施結果の概要報告

（幹事）

1 応試者

1495人（資料1のとおり）

2 日程

11月20日から同月26日まで（ただし、23日及び24日を除く。）

3 場所

司法研修所及び新梅田研修センター（大阪市福島区）

4 考試結果等

資料2及び資料3のとおり

不可の科目があった者の割合 0.54%（応試者数1495人中8人）

委員長は、各科目的答案採点担当委員に、本年度の問題及び不可答案の内容についての説明を求め、鈴木委員（民事裁判）、遠藤委員（刑事裁判）、石山委員（検察）、山口委員（民事弁護）、古田委員（刑事弁護）の順に説明

第2 審議

1 合格者決定

(幹事)

全科目可以上の成績を収めた 1487 人を合格とすることを提案

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

2 不合格者決定

(幹事)

不可の科目があった 8 人を不合格と決定することを提案

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

3 不合格者の氏名等発表

(幹事)

委員長の指示により、資料 4 のとおり不合格者の氏名等を発表

4 受験回数制限について

(幹事)

今回の考試不合格によって、次回の考試が 3 回目の受験となる応試者が

1 人いる旨を報告

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

(委員長)

閉会宣言

令和元年 12 月 10 日

司法修習生考試委員会書記

古屋慎二

同

澤田幸宏

(別紙)

(出席者)

委員長	最高裁判所長官	大 谷 直 人
委員	最高裁判所判事	大 池 上 政 幸
同	最高裁判所判事	菅 野 博 之
同	最高裁判所判事	宮 崎 裕 子
同	最高検察庁総務部長	畠 本 直 美
同	法務省大臣官房人事課長	濱 克 彦
同	法務省刑事局長	小 山 太 士
同	法務総合研究所長	大 場 亮 太 郎
同	弁護士（東京弁護士会）	藤 原 浩
同	弁護士（第一東京弁護士会）	柴 田 龍 太 郎
同	弁護士（第二東京弁護士会）	中 村 晶 子
同	最高裁判所事務総長	中 村 慎
同	東京高等裁判所判事	大 段 亨
同	東京高等裁判所判事	青 柳 勤
同	司法研修所長	永 野 厚 郎
同	司法研修所教官（判事）	鈴 木 謙 也
同	司法研修所教官（判事）	徳 増 誠 一
同	司法研修所教官（判事）	遠 藤 彦 規
同	司法研修所教官（判事）	佐 藤 弘 規
同	司法研修所教官（検事）	石 山 宏 樹
同	司法研修所教官（検事）	渡 邊 ゆ り
同	司法研修所教官（弁護士）	山 口 卓 男
同	司法研修所教官（弁護士）	鍵 尾 篤
同	司法研修所教官（弁護士）	古 田 茂 登
同	司法研修所教官（弁護士）	北 澤 尚 哉
同（幹事）	最高裁判所事務総局人事局長	堀 田 眞 哉

以上26人